開催日時	2023年3月9日(木)16時00分~16時20分
開催場所	藤田医科大学病院 外来棟 6 階 6-6 セミナールーム
出席委員名	飯島、佐藤、工藤、林、山中、中川、大野、岩﨑、小菅、佐々木、中
	田

1)審議事項

① 新規申請 該当なし

② 継続審査 該当なし

③ 変更申請 6件

④ 疾病等報告 該当なし

⑤ 定期報告 2件

⑥ 終了報告 該当なし

⑦ 重大な不適合事項の報告 該当なし

⑧ その他 3件

2)報告事項

事前確認不要事項の報告 該当なし
他院における疾病等報告 該当なし

③ その他 該当なし

3) 次回開催について

1) 審議事項

①新規申請							
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果		
		該当なし					
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果		
		該当なし					
③変	更申請	l		l			
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果		
	CR22-	クローン病に対する糞便	医学部・先端光学診療	審査資料に基づき、	承認		
	047	バンクを用いた糞便移植	学 教授 大宮 直木	研究実施の妥当性			
		の有効性に関する多施設		について審査した。			
		無作為割付対照比較試験					
	CR22-	心臓リハビリテーション	医学部·循環器内科学	審査資料に基づき、	承認		
	048	医療機器プログラムの実	教授 井澤 英夫	研究実施の妥当性			
		現性と有用性を探索的に		について審査した。			
		検討する単群非盲検医師					
		主導試験					
	CR22-	無作為化比較試験を用い	藤田医科大学病院 教	審査資料に基づき、	承認		
	049	た舌骨挙上障害に対する	授 才藤 栄一	研究実施の妥当性			
		磁気刺激効果の検討		について審査した。			
	CR22-	食物アレルギー児の食事	医学部・小児科 教授	審査資料に基づき、	承認		
	050	指導におけるアレルゲン	近藤 康人	研究実施の妥当性			
		含有加工食品の有効性の		について審査した。			
		検証					
	CR22-	装着型生体センサのリハ	医学部・リハビリテー	審査資料に基づき、	承認		
	051	ビリ分野活用に向けての	│ │ション医学Ⅰ 教授	研究実施の妥当性			
		 有用性の評価	大高 洋平	について審査した。			

	CR22-	血液透析患者を対象とし	医学部 內科学 教授	審査資料に基づき、	承認	
	052	たカルシミメティクス早	稲熊 大城	研究実施の妥当性		
		期介入療法と従来療法に		について審査した。		
		よる冠動脈石灰化 に与				
		える影響の比較検討:多				
		施設共同オープンラベル				
		ランダム化比較試験				
④疾	病等報告					
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果	
		該当なし				
⑤定	期報告					
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果	
	CR21-	蛍光造影剤(フルオレサイ	医学部・先端光学診	申請内容について	承認	
	044	ト注)を使用したプローブ	療学 教授 大宮 直木	確認し審査した。		
		型共焦点レーザー内視鏡				
		の有用性の検討				
	CR22-	下肢麻痺患者の運動機能	医学部・リハビリテ	申請内容について	承認	
	035	障害に対する磁気刺激の	ーション医学 I 教授	確認し審査した。		
		効果の検討	大高 洋平			
⑥終	· 了報告					
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果	
		該当なし				
⑦重	⑦重大な不適合事項の報告					
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果	
		該当なし				
8	その他					
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果	

CR21-	胆膵疾患における造影超	医学部・消化器内科学	報告内容について	実施計画
043	音波検査の有用性の検討	教授 廣岡 芳樹	確認した。	の軽微な
	に関する臨床研究			変更がさ
				れたこと
				が報告さ
				れた。
CR22-	干渉波電気刺激と経頭蓋	医学部・リハビリテ	報告内容について	簡便な審
043	直流電気刺激のハイブリ	ーション医学 I 教授	確認した。	査で承認
	ッド介入が嚥下機能に及	大高 洋平		されたこ
	ぼす効果の検討			とが報告
				された。
CR22-	電気けいれん療法で臨床	医学部·精神神経科学	報告内容について	簡便な審
044	的に安定した、抗うつ薬	講師 佐久間 健	確認した。	査で承認
	治療抵抗性の大うつ病性			されたこ
	障害患者に対する外来維			とが報告
	持反復経頭蓋磁気刺激療			された。
	法の再燃予防効果: 二重			
	盲検ランダム化シャム比			
	較試験			

2)報告事項

①事前確認不要事項の報告						
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果	
		該当なし				
②他	②他院における疾病等報告					
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果	
		該当なし				
3	③ その他					
	整理番号	研究課題名	研究責任(代表)医師	議論の概要	審査結果	

	該当なし		

3) 次回開催について

4月13日(木)16時~

以上